

外部専門家・自立活動連携相談について

自立活動係では、職員の専門性や指導力向上のために、外部専門家の先生をお呼びしております。今年度も4名の先生に来校していただき、連携・相談を行いました。

○理学療法士(PT)

○言語聴覚士(ST)

○作業療法士(OT)

○作業療法士(心理士)

※作業療法士の先生には、心理面においてもカバーしていただける研修を行っております。

外部専門家の先生方とは、自立活動の指導を充実させるために、困難さの背景要因を探る視点で連携・相談を行っており、直接的な指導の改善を図るために話し合いなども行っております。

今回は、言語聴覚士(ST)との相談について報告させていただきます。

【言語聴覚士(ST)】

言語聴覚士(ST)は、話す、聞く、表現する、食べるなどの専門家です。話すことができる筋道(発達)を詳しく教えていただけます。今回は、発音が不明瞭な児童・生徒に対する支援方法についてご指導いただきました。ご指導いただいた事例についていくつか紹介します。

○音を正しく発音するトレーニング方法

・口を閉じる練習…ブクブクうがい、吹き戻しなどの吹く遊びなど日常生活の中で自然に取り入れられることから始める。

・音韻能力(音の粒をとらえる力)の向上…提示された単語を一文字ずつタッピングしながら読む。

しりとりなどの語想起課題に取り組む。

・「力行」の練習…①母音+力(例:あーか)②力+母音(例:かーあ)③力+母音+力(例:あーかーあ)

④力のつく単語の練習(語頭:かめ、かさ⇒語尾:いか、しか⇒語中:さかな、おかね)

※スモールステップで練習していく、練習は短時間で毎日行うことが理想



【音の粒をとらえる練習】

(一文字ずつタッピングしながら読む)

【しりとりの様子】

(紙に単語を書きだしながら行う)